

# 公取「1000人体制」計画

## 審査部門 概算要求盛り込みへ 大幅増員

公正取引委員会は十一日、急増する合併事業などの審査に、現在の人員五百七十一名の審査のスピードアップや競争人を今後数年間で千人に増やすことを柱とする人員増強計画を発表した。審査部の概算要求に盛り込み、実効計画を大幅に増やし、現を旨指す。

# 日銀政策 決定会合

かけて、塩川財務相は景気現在の向に関して、十日に開かれた経済財政諮問会議の審議案を九月以降に発表される二人が短観などの結果を踏まえて、新たな経済対策の策から二求める意見が多く出た。閣議を明らかにした。度、塩川財務相は「補正予算と

# 「諮問会議」

「諮問会議」が「経済財政運営の基本方針をまとめるなど、予算のプロを自任する財務省が必ずしも意見を反映できない場面もある。塩川発言は、財務省の焦りも反映しているようだ。」

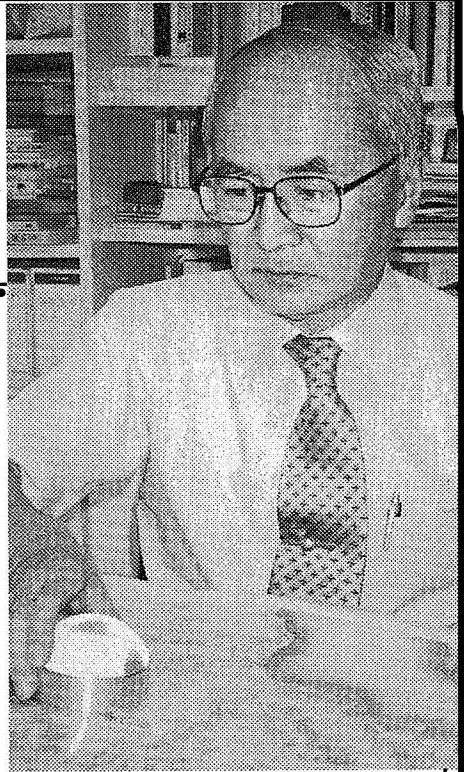
# 比例選 非拘束式、無効票増

## 総務省「正確な記入呼

総務省は十一日、参院選で個人名と政党名の両方が書かれた投票の取り扱いは「無効」と見られるため、各都道府県選挙管理委員会に通知した。非拘束式投票の導入により、有効・無効票の判断が微妙な例が急増する見られるため、同省は「無効とならないように、有権者には政党名か個人名を正確に記入してほしい」と呼び掛けている。

# 家公務員 姓OKに

府は十一日、各都道府県で改姓した国家公務員の職場の旧姓使用を認める。八項目以外の省内文書の決裁印や身分証明書などについても、各都道府県が個別の判断で認めることを可能としている。また、各都道府県が人事担当課職員を「旧姓使用担当課長」に任命し、この新方針の徹底と職員の相談に当たるとも確認した。



日本古地図学会理事、日本国際地図学会員。著書に「伊能測量隊まかり通る」。71歳。

伊能忠敬の「大図」の写し206枚を発見した

渡辺 一郎さん

「伊能図」には迫力がある。見た瞬間伝わってくる。江戸時代の測量の大家・伊能忠敬の研究に携わって二十六年。国内外に散らばっている忠敬の地図約二百二十種、二百枚の大半と対面してきた。長年の蓄積が、米国での大量発見につながった。研究を始めたころ、電電公社(現NITEL)のプロジェクトリーダーとして、全国約三万の郵便局のネットワーク化に腐心していた。

# 米国にあると信じていた

「当時としては想像を絶する作業」の中で、歴史教科書の登場人物に過ぎなかった忠敬が、急に身近に思えてきた。「歩いて日本地図を作るのも想像を絶する仕事だったはず。制作プロセスが知りたくなっただけか、人は動く」。一測量家の身で幕府を動かした忠敬に、一脈通じるものがある。

国漁船の操業問題で水産庁向を監視する狙いだ。